

2007年10月1日

有限会社老田酒造店の清酒製造販売事業に関する事業譲渡契約締結 ならびに新生『株式会社老田酒造店』の企業概要について

ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社(本社:香川県小豆郡/代表取締役社長:小林武司、以下 JFLA)の100%子会社と、2007年5月21日付けにて締結した、有限会社老田酒造店(本社:岐阜県高山市/代表取締役社長:老田正夫)との間における、同社が営む清酒製造販売事業に関する事業譲渡契約を受け、本日2007年10月1日をもって、“新生”老田酒造店は、JFLAグループのメンバー企業となりましたので、以下の通りお知らせいたします。



1. 事業譲渡契約締結の目的と趣旨

老田酒造店は、岐阜県・高山市に残る古い町並み(国の「重要伝統的建造物群保存地区」に指定された区域)からほど近い上一之町に本社を置き、創業は江戸時代・享保年間(1720年代)と古く、約280年もの間、一貫して辛口の酒を造り続ける大変伝統のある蔵元です。高い山々に囲まれる高山地方は、地元の米と飛騨山系の伏流水、そして厳しい寒さといった酒造りに必要とされる条件が揃っており、この寒さこそが辛口で素朴な味わいを持つ日本酒を生み出しています。

同社が長年培ってきた酒造りの技が醸し出す清酒の中でも、主要ブランドである『飛騨自慢鬼ころし』は、いまや辛口タイプの日本酒の代名詞となっており、また、全国に数ある清酒ブランド「鬼ころし」の元祖となっています。

設備投資の負担が経営を圧迫していた同社に対し、2007年5月21日に発表の通り、JFLAでは、同社事業を支援してまいりましたが、このたび同社をメンバー企業とし、同社の清酒製造販売事業を受け継ぐこととなりました。

「日本の伝統的な食文化の継承」という当社グループの創業理念のもと、老田酒造店の長い歴史に培われた酒造りを継続し、地域に根ざした清酒ブランドとしてさらなる認知向上に努めてまいります。営業面においては、既存の流通ルートのほか、当社グループの酒類商品の販社であるジャパン・フード&リカー・アライアンス酒類販売株式会社を通じた、地元エリア以外での同ブランドの効率かつ積極的な販売展開を、また、生産面においては、既存の当社グループ内清酒醸造事業との連携によって効率化をはかるとともに、より一層の品質向上を追究します。

2. 事業譲渡の概要

譲受の内容： 有限会社老田酒造店の清酒製造販売事業
 譲渡事業売上高： 約3.43億円(2006年9月期)
 過去における最大の売上高：約12.2億円(1987年9月期)
 事業譲渡経過： 契約締結日 2007年5月21日
 事業譲渡手続き実行日 2007年10月1日
 譲受先会社： タオイ酒造株式会社(本店：東京都中央区)
 ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社100%出資子会社
 2007年10月1日をもって商号を「株式会社老田酒造店」に変更し、本店を
 岐阜県高山市清見町牧ヶ洞1928番地に移転

3. 新生「株式会社老田酒造店」の会社概要

(1) 商号	株式会社老田酒造店
(2) 本店所在地	岐阜県高山市清見町牧ヶ洞 1928 番地
(3) 代表者名	代表取締役社長 佐々木一毅
(4) 資本金	1,000 万円
(5) 決算期	9 月
(6) 事業内容	清酒製造販売
(7) URL	http://www.onikorosi.com/

4. 老田酒造店の沿革

-1720 年代 (享保年間)	郡上地方に起きたとされる老田家が現在の高山に移り住み酒造りを開始、その酒は「鬼をも殺すような」と比喻され、辛口の酒の代名詞になっていく
-1954 年 (昭和 29 年)	有限会社老田酒造店として法人設立
-2007 年 (平成 19 年)	ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社の 100% 子会社との間で事業譲渡契約を締結し、JFLA メンバー企業として、新生『株式会社老田酒造店』が 10 月 1 日より営業開始

5. 老田酒造店の清酒ブランド

老田家はもともと岐阜県郡上郡の千虎村に起きた家だと伝えられていますが、1720 年代 (享保年間) になって、徳川幕府の直轄地であり、すでに酒造りが盛んであった飛騨高山地方へと移り住み、そこで酒造りを開始しました。四方を山々に囲まれる飛騨高山は、地元の米と豊かで清らかな飛騨山系の伏流水、そして冬の厳しい寒さといった酒造りに必要とされる条件が揃った地域でした。この寒さこそが、この地方独特の辛口で素朴な味わいを持つ日本酒を生み出しており、特に老田家の造る酒は「鬼をも殺すような」と比喻され、辛口の酒の代名詞となっています。

1991 年(平成 3 年)には、高山の中心地からほど近く、良質で豊富な水と厳しい寒さといった、酒造りには欠かせない風土を持つ清見町に醸造場を移し、江戸時代から続く伝統の技を基本として、さらなる品質の向上をはかるべく、酒造りを行っています。

飛騨自慢 鬼ころし (ひだじまん おにころし)

江戸時代より老田の酒は「鬼をも殺すような」と言われるほどの辛口の酒として有名でした。その辛口な酒のキャラクターに対して、「鬼ころし」という俗称がついていましたが、これを戦後に「飛騨自慢 鬼ころし」として商標登録し、新たなブランドとしてリリースしました。以来、老田酒造店を代表する銘柄として広く知られています。清酒ブランドとして「鬼ころし」は、全国各地にあります。老田酒造店がその元祖となっています。

- ・飛騨自慢 鬼ころし 本醸造
(日本酒度...+3.5 / 酸度...1.4 / アルコール分 15.6%、1.8L / 720ml)
- ・飛騨自慢 鬼ころし 怒髪衝天辛口 純米原酒
(日本酒度...+10.0 / 酸度...1.9 / アルコール分 18.9%、1.8L / 720ml)
- ・鬼ころし 純米大吟醸 原酒
(日本酒度...+3.0 / 酸度...1.6 / アルコール分 17.3%、1.8L / 720ml)

